



平成23年5月9日

各位

会社名 株式会社 葵プロモーション
 代表者 代表取締役社長 藤原 次彦
 (コード番号9607 東証第一部)
 問合せ先 専務取締役 八重樫 悟
 TEL03(3779)8000

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年5月17日に公表した業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正 平成23年3月期通期(平成22年4月1日~平成23年3月31日)

(1) 連結業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	15,400	1,130	1,000	580	48.91
今回修正予想(B)	15,989	1,498	951	360	30.43
増減額(B-A)	589	368	49	220	-
増減率	3.8	32.6	4.9	37.9	-
(ご参考)前期(平成22年3月期)実績	14,171	883	595	475	39.84

(2) 個別業績予想

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	10,500	660	710	460	38.79
今回修正予想(B)	10,823	943	994	107	9.03
増減額(B-A)	323	283	284	353	-
増減率	3.1	42.9	40.0	76.7	-
(ご参考)前期(平成22年3月期)実績	9,560	402	475	418	35.02

2. 業績予想修正の理由

(1) 連結業績予想

わが国の経済は、昨年後半は景気が一時的に停滞する「踊り場」の状況にあったものの、年明け以降は「踊り場」を脱し、緩やかに回復していました。足元は東日本大震災の影響で大幅に落ち込んでおりますが、こうしたわが国経済の動きを反映し、広告需要は大きく回復するには至っていないものの、その中で当社が主力とするテレビコマーシャルの需要は回復基調を維持しております。このような環境の中にありまして、当社グループでは、引き続き、制作原価率の抑制、コストの削減等による収益力の強化と、グループ全体の営業体制強化に努め、全社を挙げてより一層の業績の改善に努めてまいりました。この結果、売上高および営業利益は前回発表予想を上回る見込みです。しかしながら、解散を決定した当社持分法適

用会社の持分法投資損失を営業外費用に計上していること、加えて本日発表の「特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり特別損失を計上することから、経常利益および当期純利益については前回発表予想を下回る見込みです。

(2) 個別業績予想

上記の理由および、個別決算においては当社持分法適用会社の株式に対する投資有価証券評価損と同社向け貸付金に対する貸倒引当金繰入額が特別損失に計上されることから、個別業績については、売上高、営業利益および経常利益は前回発表予想を上回る一方で、当期純利益は前回発表予想を下回る見込です。

なお、配当につきましては、平成22年5月17日付で公表のとおり、1株あたり年間20円（中間期7円、期末13円）とする予定であります。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上